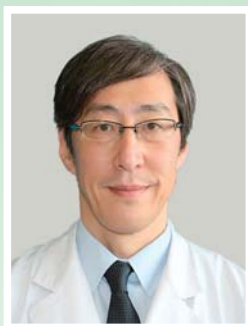


PET検診のご案内



放射線診療部長
南部 敏和

当院では2018年9月の第1期分新築移転にて、あたらしい検査室に新型のPET-CT装置が導入され、各診療科におけるがん診療に活用されています。いまや死因の第1位となったがんと効果的にたたかっていくためには何より早期発見が重要であることから、2019年夏よりPET健診も開始いたしました。

PET（陽電子放射断層撮影）検査は、ほぼ全身のがんリスクをチェックすることを目的とする検査で、とくに肺がん、すい臓がん、乳がん、頭頸部がんなどの発見に有用とされ、また検査による苦痛が少なく、1度の検査でほぼ全身をチェックできるため、がんの全身評価として広く用いられてきています。

当院でのPET健診の特徴としては、新築移転後のあたらしい設備での検査が受けられるため、より小さながんを発見できること、数名在籍している放射線（画像）診断医師の監督下で運営されていること、検査時には担当職員からの事前や検査中の説明だけでなく、検査直後に、できたばかりの画像を指し示して、専門医からのわかりやすい説明も行っており、自由に質問もお受けしていること、万一異常所見があった場合は、院内にがん診療の専門医がそろっているため専門医への相談、紹介がすぐ受けられること、診断結果の郵送時に画像データもご提供していること、などがあげられます。

PET健診のみですべてのがんが発見できるというわけではなく、他の健康診断等と組み合わせて自己管理していく、などの注意点もありますが、がん予防において効果のあるシステムであり、有効にご利用いただければ幸いです。



図1 健診検査まえの説明。説明後に検査薬を注射したあと、専用スペースにて1時間程度の安静待機が必要です。



図2 検査中の様子です。横になっているだけで、検査中の痛みや大きな騒音などはありません。



図3 PET専門医（渡邊史郎医師）によるPET健診の結果説明です。当日すぐに説明が受けられますが、正式な結果は所見再検討ののち、後日郵送されます。